

第4号様式（第6条関係）

定款変更認証申請書

〇〇年〇〇月〇〇日

鹿屋市長 様

所轄庁の変更を伴う定款変更の場合は、変更後の所轄庁指定の様式を用い、変更後の所轄庁の知事あてとされていますか。
※提出は変更前の所轄庁にします。

所在地 鹿屋市〇〇町〇〇〇〇番地〇
名称 特定非営利活動法人〇〇〇〇
代表者の氏名 鹿屋 太郎
電話番号 0994 (〇〇) 〇〇〇〇

当法人の定款を変更することについて、特定非営利活動促進法第25条第3項の認証を受けたので、下記のとおり申請します。

記

変更しようとする定款の条文等について、変更後と現行の記載の違いを明らかにした新旧条文等の対照表が記載されていますか。変更部分には下線が引かれていますか。

1 変更の内容

新	旧
<p>(名称) 第1条 この法人は、特定非営利活動法人 <u>〇〇〇〇</u> という。</p> <p>(残余財産の帰属) 第52条 この法人が解散（合併又は破産による解散を除く。）したときに残存する財産は、法第11条第3項に掲げる者のうち、<u>解散総会において選定した者に譲渡するものとする。</u></p>	<p>(名称) 第1条 この法人は、特定非営利活動法人 <u>〇〇〇〇</u> という。</p> <p>(残余財産の帰属) 第52条 この法人が解散（合併又は破産による解散を除く。）したときに残存する財産は、法第11条第3項に掲げる者のうち、<u>鹿屋市に譲渡するものとする。</u></p>

2 変更の理由

第1条について、〇〇〇の理由により、法人名称の変更を行うこととなったため。
第52条について、解散時に譲渡先を決めることができるようにするため。

変更する定款の条文ごとに記載されていますか。複数の条文を同一の理由により変更する場合はまとめて「〇条～〇条は〇〇のため」でOK

- 備考1 「変更の内容」には、変更しようとする定款の各条文等について変更後と変更前の違いを明らかにした新旧条文等の対照表を記載すること。1部
- 2 次に掲げる書類を添付すること。
- (1) 当該定款の変更を議決した社員総会の議事録の謄本（1部）
 - (2) 変更後の定款〔2部〕
 - (3) 当該定款の変更の日の属する事業年度及び翌事業年度の事業計画書及び活動予算書（当該定款の変更が特定非営利活動促進法第11条第1項第3号又は第11号に掲げる事項に係る変更を含むものであるときに限る。）〔2部〕
- 3 所轄庁の変更を伴う定款の変更の場合には、2に掲げる書類のほか次に掲げる書類を添付すること。
- (1) 役員名簿（役員の氏名及び住所又は居所並びに各役員についての報酬の有無を記載した名簿をいう。）〔2部〕
 - (2) 特定非営利活動促進法第2条第2項第2号及び第12条第1項第3号に該当することを確認したことを示す書面（1部）
 - (3) 直近の特定非営利活動促進法第28条第1項に規定する事業報告書等、（設立後これらの書類が作成されるまでの間は同法第10条第1項第7号の事業計画書、同項第8号の活動予算書及び同法第14条の財産目録、合併後これらの書類が作成されるまでの間は同法第34条第5項において準用する同法第10条第1項第7号の事業計画書、同法第34条第5項において準用する同法第10条第1項第8号の活動予算書及び同法第35条第1項の財産目録）〔2部〕